具体的な活動や体験を通して，自己の成長に気付く授業づくり
～　２年　身近な人や場所について調べる活動を通して　～

日立市立成沢小学校

１　はじめに

小学校学習指導要領解説生活科編の目標には，「具体的な活動や体験を通して，自立への基礎を養う。」と記されている。「具体的な活動や体験」とは，見る，聞く，触れる，作るなどの活動のことである。児童が身近な人々や自然，地域に働きかける中で，上記のような活動をしていくことで，新たな気付きや表現する喜びを感じ取り，自己の成長を実感できることが大切である。

そこで，２年生の生活科「もっと知りたいな　町のこと」の単元においても，身近な場所を探検する活動を通して，出会った人々にインタビューする直接体験活動を行う。自分たちの住んでいる町の良さに改めて気付かせ，そこで働く人々との交流を通して，人との関わり方ができるようにする。また，グループ活動で，あいさつをしたり，決まりを守って友達と助け合ったりしながら，公共施設を利用するときのマナーや安全について考え，実践できるようにしたい。

２　資料

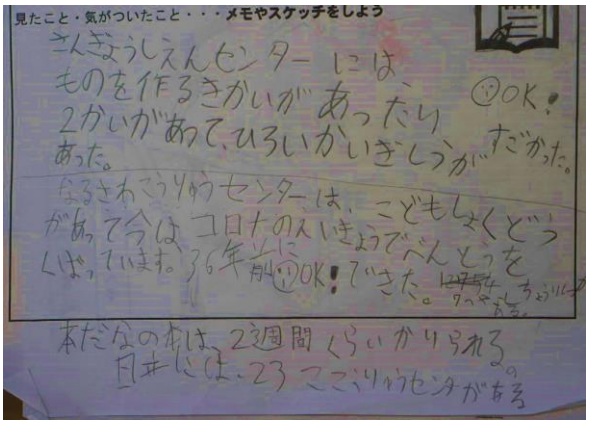
（１）　単元名「もっと知りたいな　町のこと」　指導計画

時	主な学習活動	評価の観点	指導上の配慮事項
１ ～ ３	・行ってみたいところを話し合い探検に行く計画を立てる。 ・探検場所で質問する練習をしたり，お気に入りの場所を紹介したりする。	・町の様子に興味をもち，探検の見通しをもつ。　（主・態） ・探検場所や周りの様子を確認し探検の場所で質問する練習をしたり紹介したりすることができる。　（思・判・表）	・地域の地図や写真を用意し，探検の意欲を高める。 ・探検する道順を確認し安心して探検できるようにする。 ・安全やマナー，質問内容を練習し自信をもってできるようにする。
４ ～ ６	・計画に沿って探検に出かけそこで出会った人々へのあいさつやインタビュー等を通して町の人との関わりを深める。	・約束を守り，安全に気を付けて行動している。　（知･技） ・出会った人にインタビューしたことで，気付いたことを，メモしている。　（思・判・表）	・安全に探検できるように保護者の見守りを事前に依頼しておく。 ・グループごとに約束やマナーを守って，安全に探検することを確認する。
７ ～ ９	・町探検で見つけたことや気付いたことをカードや新聞等にまとめる。	・気付いたことや分かったことを進んでまとめようとしている。　（主･態）	・絵や文などで工夫し，分かりやすくまとめるようにする。
10 ～ 12	・グループごとにまとめたことを報告し合う。	・分かりやすく友達に伝えようとしている。　（主・態）	・グループごとに発表し合い，感想を書く。
13	・町探検でお世話になった人々へ，お礼の手紙を書く。	・お世話になった人々へ，お礼の手紙を書くことができる。　（知･技）	・感謝の気持ちを表すとともに，相手を意識した情報発信ができるようにする。

（２）　授業の様子及び児童の振り返り

【町たんけんで魚屋さんにインタビュー】

【児童の振り返りカード】



【話し合いながら新聞にまとめる活動】

【１年生に伝える活動】

３　成果と課題

（１）　成果

〇計画や探検，まとめ学習ではグループで活動し，友達にアドバイスをしたり，一緒に作り上げたりし，達成感や満足感を感じることができた。

〇初夏に公園探検に行った経験を生かし，安全やマナーに気を付けて探検することができた。

〇事後の活動である１年生への発表に向けて，相手意識をもってまとめ学習をすることができた。

〇お世話になった施設の方や保護者にお礼状を書き，周囲の人の助けを得て探検に行けたことが実感できていた。

（２）　課題

〇見学先での質問がなかなかできない児童がおり，質問の仕方を練習するなど自信をもたせる手立てが必要であった。また，インタビューしたことをメモすることを忘れてしまう児童も見られ，まとめ学習に向けてメモを残すよう助言の仕方を工夫すべきであった。